

ひとスクランブル

フォーカス



設立10年目を迎えた日本NPO学会会長

日本社会にすっかり定着し、研究対象としても市民権を得た「非営利組織」(NPO)だが、日

山内 直人氏

再考の年、経営基盤強化促す

本NPO学会もことし設立10年目を迎えた。会長の山内直人大阪大学大

れていなかった。

「営利を追求せず、見返りも期待しないで社会のために活動するNPOという存在に好奇心を持

本にもと考えた」

ここ十年は、日本のN

NPOの今後について

返りも期待しないで社会のために活動するNPOという存在に好奇心を持つ

POの量的拡大期で、学会自体も会員が千二百人にふくらんだ。このあたりで一度N

山内会長は「大成功した華やかなNPOがあってもいいが、どの団体も零細だ。もっと経営基盤を強化する一方、清く正しく、という社会の信頼にも応えてほしい」と期待する。NPO学会も、政策提言でできるような組織に脱皮を図っている。

院国際公共政策研究科教授が旧経済企画庁から大阪大学へ転じた当時は、NPOは経済学でも政治学でも本格的には研究さ

った。エール大学に留学した時、研究者と実践家がともに集う全米規模のNPO研究の学会があった。同じものを何とか日

というわけで、十五、十六日に中央大学後楽園キャンパスで開催する第十回年次大会の公開シンポジウムは「NPO再考」。

原田勝広(編集委員)